

第 1 章 健康日本 21 あいち新計画の概要

1 計画の趣旨

「生涯を通じて、健康でいきいきと過ごす」ことは、すべての県民にとっての願いであり、目指すべき姿です。

国においては、健康増進に係る取組として、「国民健康づくり対策」が昭和 53(1978)年から数次にわたって展開されてきました。また、平成 15(2003)年 5 月には、健康増進法が施行され、国民の健康づくりを積極的に推進するための法的基盤が整備されました。

愛知県においても、昭和 53(1978)年から「自分の健康は自分で守る」をスローガンに、従来からの「病気の予防」に留まらず、「より健康に」という積極的な健康づくりに取組んできました。平成 10(1998)年 6 月には「あいち健康づくりプラン～すべての県民に健康を～」を、平成 13(2001)年 3 月にはあいち健康づくりプランの行動計画かつ第 1 次計画として「健康日本 21 あいち計画」を策定しました。

さらに、平成 25(2013)年 3 月に、その第 2 次計画として平成 25(2013)年度から平成 34(2022)年度までの 10 年間の計画期間とする「健康日本 21 あいち新計画」を策定し、「健康長寿あいちの実現」に向けた取組を進めてきました。なお、計画の策定にあたっては、県民の健康状態や生活習慣の差の把握に努め、地域の健康課題を明確にし、10 年後の目指すべき姿について目標を設定しました。

また、愛知県の健康と福祉の総合計画である「あいち健康福祉ビジョン」や「愛知県地域保健医療計画」、「愛知県医療費適正化計画」、「愛知県高齢者健康福祉計画」と調和を図り、健康づくりの個別計画である「愛知県がん対策推進計画」や「愛知県歯科口腔保健基本計画」についても整合性を図りながら、策定しました。

「健康日本 21 あいち新計画」中間年度の平成 29(2017)年度に、中間評価を実施し、既に目標を達成した指標や見直しが必要となった指標について検討を行い、今後の健康づくりの推進体制の充実強化を図っていきます。

本計画では、

健康長寿あいちの実現（健康寿命の延伸と健康格差の縮小）

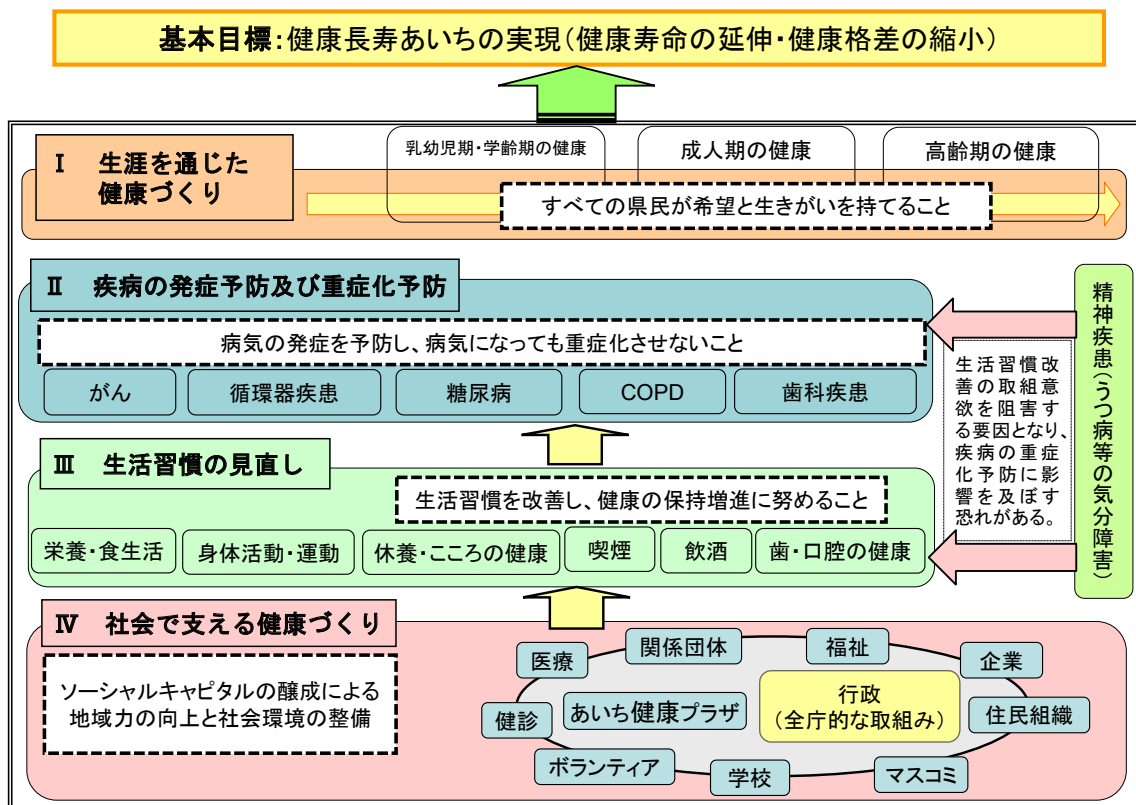
を愛知県が目指すべき「基本目標」と定めています。

2 基本的な方向と目標

「生涯を通じて、健康でいきいきと過ごす」ことは、すべての県民にとっての願いであり、県民の主体的な健康づくりに加えて、治療や介護を要している方のそれぞれの段階に応じた健康づくりを支え、すべての県民が生きがいを持って過ごすことのできる社会を目指す必要があります。

「健康日本 21 あいち新計画」では、基本目標に「健康長寿あいちの実現（健康寿命の延伸と健康格差の縮小）」を掲げ、目標達成のための基本方針として、「(Ⅰ) 生涯を通じた健康づくり」、「(Ⅱ) 疾病の発症予防及び重症化予防」、「(Ⅲ) 生活習慣の見直し」、「(Ⅳ) 社会で支える健康づくり」の4つを掲げ、推進しています。

<健康日本21あいち 新計画の概念図 >



3 目標項目と指標

基本目標である「健康長寿あいちの実現（健康寿命の延伸と健康格差の縮小）」を達成するために、基本目標、基本方針ごとに項目及び指標を設定しています。

項目及び指標の数は、全 88 項目、男女の別等で細分化すると 123 指標にのぼり、指標には目標値をそれぞれ設定しています。

基本目標・基本方針・分野		目標 項目数	指標数
基本目標	健康長寿あいちの実現 (健康寿命の延伸と健康格差の縮小)	1	2
基本方針(I)	生涯を通じた健康づくり	1	1
基本方針(II)	疾病の発症予防及び重症化予防		
(分野)	がん	3	8
	循環器疾患	9	15
	糖尿病 ※	9	11
	COPD（慢性閉塞性肺疾患）	4	4
	歯科疾患	4	6
	小 計	29	44
基本方針(III)	生活習慣の見直し		
(分野)	栄養・食生活	14	17
	身体活動・運動	9	16
	休養・こころの健康	8	9
	喫煙	11	15
	飲酒	5	7
	歯・口腔の健康	5	7
	小 計	52	71
基本方針(IV)	社会で支える健康づくり	5	5
	合 計	88	123

※糖尿病の項目・指標には、循環器疾患と同じ項目・指標を4つ設定しています。